



ききょうだより

令和2年
8月25日
第5号

教育目標 「磨き 輝き 未来をともに拓く」

校長 山田 和弘

第1回 学校運営協議会 開催 ふるさとを大切に作る心、自助・共助の社会づくり

7月30日に、第1回学校運営協議会を開催しました。例年、学校の様子・子供たちの姿を見ていただき、学校の経営方針等についてご意見を伺う機会としていますが、本年度は感染症予防対策を踏まえて、夜に行いました。学校の経営方針、新しい生活様式を踏まえた教育活動、いじめ防止基本方針、子供たちの活動の様子について説明し、次のような意見をいただきました。

「ふるさとを大切に作る心、これからの社会を生き抜く強い心をもった子供に育てていきましょう。」

「感染症対策の中、これからの新しい学校生活・教育活動について一緒に考えていきたい。」

「いじめについて、アンケートに書けない子、大人に言えない子について気を付けて見てほしい。」

「美山地区を自助（自分で守る）・共助（地域で助け合う）が当たり前のできる社会としていきたい。」

コロナ禍の中、学校・家庭・地域が手を取り合い、子供の成長を願う共通認識について確認できました。

1人1台端末は、令和の学びの「スタンダード」 ～GIGAスクール構想の加速による学びの保障～

『GIGA（ギガ）スクール構想』これは、令和の時代に入り、国が掲げた重要施策の一つです。今年度、感染症対策として全国の学校が臨時休業となる状況が続く、児童・生徒の学びをどう保障していくかが議論される中、この構想は加速されました。

GIGAスクール構想とは？

- ・1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、特別な支援を必要とする子供を含め、多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育ICT環境を実現する。
- ・これまでの我が国の教育実践と最先端のICTのベストミックスを図ることにより、教師・児童生徒の力を最大限に引き出す。

（さらに、）

「1人1台端末」の早期実現や、家庭でも繋がる通信環境の整備など、「GIGAスクール構想」におけるハード・ソフト・人材を一体とした整備を加速することで、災害や感染症の発生等による学校の臨時休業等の緊急時においても、ICTの活用により全ての子供たちの学びを保障できる環境を早急に実現する。
(文部科学省)

山県市においても、「やまがた教育ビジョン2020」において、学ぶ力の保障と自律力育成、問題解決の経験を積むことを目指し、ICT（情報・通信に関する技術）を使って「自分の考え」をプレゼンできる子の育成を掲げています。学校における授業では、電子黒板（教材として動画を提示する、写真・図・グラフ等の資料を提示する、児童のノートやプリントを拡大して提示する、操作の様子を拡大して提示する際に活用）やタブレット端末を活用しています。また、1学級分のタブレット端末が整備されているため、調べ学習に活用しています。

夏季休業中には、各教室の通信環境を整備する工事と、タブレット端末を保管・充電できる棚の整備が行われました。今年度中に1人1台端末が実現する予定です。ところで、ICTを活用して行う学習とは、次のようなことが考えられます。

○調べ学習…課題や目的に応じてインターネットを用い、様々な情報を主体的に収集・整理・分析する。

○表現・制作…推敲しながらの長文の作成、写真・音声・動画等を用いた多様な資料・作品を制作する。

○遠隔教育…大学・海外・専門家との連携、他校の子供たちをつないだ授業等を行う。

しかし、このようなICTを活用する授業・活動を行うためには、ICT機器を使いこなす力を身に付けることと、使う際の約束・きまりを十分に理解していることが重要となります。夏休み前に行った情報モラル教育、家庭での約束作りについて、再度ご家庭でも話題としていただき、学校と家庭が手を取り合って、子供たちに情報活用能力、情報を正しく判断する力を身に付けていきましょう。ご協力よろしくお願いいたします。

